

■令和2年度 宮古島市施政方針■



【スペースバルーンコンテスト】

下地島空港周辺用地については、

その一環として、平良港へのクルーズ船の寄港の継続、受入施設の整備、及び下地島国際空港への新規航空路線の誘致を積極的に取り組んでまいります。

1 官民連携による自立型地域経済の発展

第二章 重点施策



【海びらき】

2 魅力あるまちづくりの推進

本市の生活及び経済を支えているのは、サトウキビ、マンゴー、メロン等の島の特性を活かした農業及び「宮古ブルー」と言われる海の碧さをはじめとする豊かな自然と、街並みや海岸線などの美しい景観です。

受できる循環型の地域経済のしくみづくりを、官民で取り組む必要があります。また、国においては、多くの分野における人手不足の解消や作業の効率化による収益性の向上等を図るため、「Society 5.0 社会の実現」を目指し、ICTの活用やRPA（コンピュータなどによる事務作業の自動化）など最新技術の積極的活用を推進しており、本市においてもその導入に向け取り組みます。

【なりやまあやぐまつり】



また、生活用水・産業用水のほとんどを地下水に頼っているため、その保全と安定的利用は市民生活の基本であることから、持続的活用を努めます。そのため、「SDGs（持続可能な開発目標）」の考え方を取り入れた、経済成長・環境保護を包摂した自助・共助・公助を基本とした総合的な暮らしの向上を図り、魅力あるまちづくりを進めます。

3 世界に開かれた教育の充実と郷土愛の発展的継承

みやこ下地島空港ターミナルの供用開始に伴い、国内外の路線が就航しました。また、平良港は今年の春には14万トン級の大型クルーズ船に対応した専用バースの供用が開始されることから、今後外国人を含む観光客の飛

関係機関と連携・協力し、早期の利活用の実現に向けて取り組みます。農業については、「人・農地プラン」に基づき、認定農業者、認定新規就農者などの育成を図り、地域の中心的担い手への農地集積・集約化に努め、農地の有効利用や農業経営の効率化を進めます。

また、計画的な生産出荷体制を構築するとともに、観光と連携した6次産業化を進めます。基幹作物であるサトウキビについては、種苗管理センターの新品種・優良種苗を農家へ広く普及することにより、反収増及び品質の向上に努めます。

とうがん及びゴーヤーなどの拠点産地品目の農作物については、自走力の向上、定時・定量・定品質の生産体制を推進し、みやこブランド確立を推進します。畜産については、繁殖生産基盤の充実・強化を図るため、優良繁殖雌牛の導入及び自家保留に対し支援します。豚の増頭を促進するため、豚熱発生未然防止に努めるとともに、施設整備の補助や飼育管理技術の向

躍的增加が見込まれており、国際化は急速に進展していくものと予測しています。

そのため、宮古の将来を担う子どもたちのたくましく生きる力を育てるため、家庭・学校・地域社会が一体となって取り組むとともに、国際理解教育や語学教育等の充実を図り、「グローバル人材」の育成を推進します。

郷土の歴史・文化は地域住民の生活の中から生まれた地域の宝であることから、その保存・継承を引き続き進めてまいります。

また、郷土の歴史・文化は魅力ある観光資源でもあることから、情報を広く発信し、地域の活性化に繋がってまいります。

4 子育て環境の整備と健康長寿に向けた地域福祉の推進

子育てを取り巻く環境は、就労形態の多様化や女性の社会進出の促進などにより、急激に変化しつつあります。本市が持続的に発展していくため

上を図ります。山羊については、生産組合の組織強化を図り、山羊の増産に努めます。また、食肉の地産地消及び販路拡大を図るため、食肉センターの活用を促進します。水産業については、漁港施設の保全工事を進めるとともに、伝統漁法、漁具倉庫の整備、アーサ洗浄脱水機の導入及び水産物販路拡大活動などについて総合的な支援を行います。

あわせて、食用や観賞用として人気の高いシャコ貝の養殖施設整備を支援します。また、生鮮水産物流通条件不利性解消事業や離島漁業再生支援交付金事業に引き続き取り組みます。



【令和2年 初セリ】



【市立図書館 児童書コーナー】

そのために、妊娠から子育てにわたり、きめ細かく切れ目のない支援体制を充実させ、子育て世代に配慮した取り組みを推進します。

核家族化や一人暮らし高齢者が増加し、人と人とのつながりが希薄化しています。市民一人ひとりが安心して日々の生活が営める社会を実現するため、保健・医療・福祉・介護などの行政サービスの充実に努め、心身ともに健やかに暮らせる社会の構築を推進します。

また、健康寿命を延伸していくためには、肥満に起因する生活習慣病の発症等による早世や要介護者の増加を抑制し、市民の健康増進に向けた取組を強化してまいります。



【ロックフェスティバル】

2 時代の趨勢に対応できる産業の振興

TPPや日米貿易協定などにより関税の引き下げや撤廃が進められていることから、本市においても他の地域とは異なるブランド化を目指すとともに、競争力の高い自立できる産業の育成が必要となっています。

そのため、各分野での効率的、かつ収益性の高い産業の育成に取り組みます。

昨年10月に下地庁舎3階にオープンしたICT交流センターにおいて、テレワークやサテライトオフィスとしての活用を推進します。

農業については、土壌病害虫、野そ及びイノシシ、クジャク等の鳥獣対策について、駆除に対する支援を行うとともに、最新技術を活用した効果的な対策についても研究します。